

各測定所における環境試料中の核種分析調査結果 (環境放射線等モニタリング調査)

大気浮遊じん

放射化学分析

単位:mBq/m³

調査地点	調査結果		比較対象①		比較対象②	
	平成27年4月 - 平成28年3月		平成24年4月 - 平成27年3月		平成20年1月 - 平成22年12月	
	⁹⁰ Sr	¹³⁷ Cs	⁹⁰ Sr	¹³⁷ Cs	⁹⁰ Sr	¹³⁷ Cs
利尻	ND	ND	ND	ND - 0.0073	ND	ND - 0.0026
竜飛岬	ND	ND	ND	ND - 0.0045	ND	ND
佐渡関岬	ND	ND	ND	ND - 0.0093	ND	ND
越前岬	ND	ND	ND	ND - 0.0063	ND	ND
隠岐	ND	ND	ND	ND - 0.0067	ND	ND
蟠竜湖	ND	ND	ND	ND - 0.0073	ND	ND
橋原	ND	ND - 0.0026	ND	ND - 0.0042	ND	ND - 0.0038
対馬	ND	ND	ND	ND - 0.0053	ND	ND
五島	ND	ND	ND	ND - 0.0048	ND	ND - 0.0013
辺戸岬	ND	ND	ND	ND - 0.0042	ND	ND - 0.0015

放射化学分析は、¹³⁴Csと¹³⁷Csを区別して、測定できないため、試料中に¹³⁴Csが含まれている場合、¹³⁷Cs放射能濃度に¹³⁴Cs寄与分を含むことがある。

大気浮遊じんの捕集に用いたろ紙(HE-40T)には微量の⁹⁰Sr及び¹³⁷Csが含まれているため、試料の放射能濃度からろ紙に含まれる⁹⁰Sr及び¹³⁷Csをブランク値として差引いた。

測定値は、計数値がその計数誤差の3倍を超えるものについて有効数字2桁で表し、それ以下のものについてはNDで示した。

測定値は、試料採取日に減衰補正した。

放射化学分析とは、試料中の放射性核種を化学的な前処理により分離した後、放射能を測定する分析法であり、Ge半導体検出器を用いたγ線スペクトロメトリーより高感度の分析が可能である。

大気浮遊じん

(単位:mBq/m³)

採取地点	試料採取日	ろ紙	γ線スペクトロメトリー			放射化学分析	
			¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	⁹⁰ Sr	¹³⁷ Cs
利尻	H27/4/3 - 6/30	No.4	(< 0.009)	(< 0.007)	1.7±0.06	(< 0.002)	(< 0.002)
	H27/6/30 - 10/6	No.4	(< 0.007)	(< 0.006)	1.7±0.04	(< 0.002)	(< 0.0009)
	H27/10/6 - 12/31	No.4	(< 0.008)	(< 0.006)	2.5±0.17	(< 0.002)	(< 0.001)
	H27/12/31 - H28/3/31	No.5	(< 0.008)	(< 0.007)	2.6±0.08	(< 0.002)	(< 0.002)
竜飛岬	H27/3/23 - 6/22	No.4	(< 0.007)	(< 0.005)	2.6±0.07	(< 0.002)	(< 0.002)
	H27/6/22 - 9/25	No.4	(< 0.007)	(< 0.006)	2.1±0.05	(< 0.002)	(< 0.0009)
	H27/9/25 - 12/28	No.4	(< 0.007)	(< 0.007)	3.2±0.18	(< 0.002)	(< 0.0009)
	H27/12/28 - H28/3/31	No.5	(< 0.009)	(< 0.007)	2.9±0.10	(< 0.002)	(< 0.001)
佐渡関岬	H27/3/31 - 6/25	No.4	(< 0.009)	(< 0.007)	3.4±0.08	(< 0.002)	(< 0.002)
	H27/6/25 - 9/29	No.4	(< 0.007)	(< 0.006)	2.1±0.05	(< 0.002)	(< 0.0009)
	H27/9/29 - 12/24	No.4	(< 0.008)	(< 0.007)	3.6±0.20	(< 0.002)	(< 0.001)
	H27/12/24 - H28/3/30	No.4	(< 0.008)	(< 0.007)	3.1±0.08	(< 0.002)	(< 0.001)

放射化学分析は、¹³⁴Csと¹³⁷Csを区別して測定できないため、試料中に¹³⁴Csが含まれている場合、¹³⁷Cs放射能濃度に¹³⁴Cs寄与分を含むことがある。

大気浮遊じんの捕集に用いたろ紙(HE-40T)には微量の⁹⁰Sr及び¹³⁷Csが含まれているため、試料の放射能濃度からろ紙に含まれる⁹⁰Sr及び¹³⁷Csをプランク値として差し引いた。

測定値は、計数値がその計数誤差の3倍を超えるものについて有効数字2桁で表し、それ以下のものについては検出下限値を示した。また、誤差は計数誤差のみを示した。

測定値は、試料採取日に減衰補正した。

⁷Beは大気試料から検出され、分析・測定全般が正しく行われているか判断する材料となる。

大気浮遊じん

(単位:mBq/m³)

採取地点	試料採取日	ろ紙	γ線スペクトロメトリー			放射化学分析	
			¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	⁹⁰ Sr	¹³⁷ Cs
越前岬	H27/3/17 - 6/23	No.4	(< 0.008)	(< 0.006)	3.3±0.08	(< 0.002)	(< 0.002)
	H27/6/23 - 9/30	No.4	(< 0.008)	(< 0.006)	2.0±0.05	(< 0.002)	(< 0.0009)
	H27/9/30 - 12/22	No.4	(< 0.009)	(< 0.006)	2.9±0.19	(< 0.002)	(< 0.002)
	H27/12/22 - H28/3/15	No.5	(< 0.01)	(< 0.007)	3.3±0.10	(< 0.002)	(< 0.002)
隠岐	H27/3/16 - 6/22	No.4	(< 0.007)	(< 0.006)	3.7±0.08	(< 0.002)	(< 0.002)
	H27/6/22 - 9/24	No.4	(< 0.007)	(< 0.006)	2.6±0.05	(< 0.002)	(< 0.0009)
	H27/9/24 - 12/22	No.4	(< 0.008)	(< 0.007)	3.4±0.21	(< 0.002)	(< 0.0009)
	H27/12/22 - H28/3/24	No.4	(< 0.007)	(< 0.007)	4.0±0.10	(< 0.002)	(< 0.002)
蟠竜湖	H27/3/26 - 6/15	No.4	(< 0.007)	(< 0.006)	3.4±0.08	(< 0.002)	(< 0.002)
	H27/6/15 - 9/7	No.4	(< 0.009)	(< 0.006)	1.7±0.06	(< 0.002)	(< 0.001)
	H27/9/7 - 12/14	No.4	(< 0.008)	(< 0.006)	2.5±0.18	(< 0.002)	(< 0.0008)
	H27/12/14 - H28/3/7	No.5	(< 0.01)	(< 0.007)	3.9±0.12	(< 0.002)	(< 0.002)

大気浮遊じん

(単位:mBq/m³)

採取地点	試料採取日	ろ紙	γ線スペクトロメトリー			放射化学分析	
			¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	⁹⁰ Sr	¹³⁷ Cs
檮原	H27/4/6 - 6/29	No.4	(< 0.01)	(< 0.007)	2.7±0.07	(< 0.002)	0.0026±0.00049
	H27/6/29 - 9/25	No.4	(< 0.007)	(< 0.006)	1.8±0.05	(< 0.002)	(< 0.001)
	H27/9/25 - 12/14	No.4	(< 0.009)	(< 0.007)	3.3±0.25	(< 0.002)	(< 0.001)
	H27/12/14 - H28/3/22	No.5	(< 0.009)	(< 0.007)	3.9±0.10	(< 0.002)	(< 0.002)
対馬	H27/3/12 - 6/8	No.4	(< 0.008)	(< 0.006)	3.5±0.09	(< 0.002)	(< 0.002)
	H27/6/8 - 9/7	No.4	(< 0.008)	(< 0.006)	1.8±0.06	(< 0.002)	(< 0.001)
	H27/9/7 - 12/7	No.4	(< 0.009)	(< 0.006)	3.3±0.23	(< 0.002)	(< 0.0009)
	H27/12/7 - H28/3/7	No.5	(< 0.01)	(< 0.007)	4.6±0.12	(< 0.002)	(< 0.002)
五島	H27/3/3 - 6/2	No.4	(< 0.009)	(< 0.006)	4.1±0.10	(< 0.002)	(< 0.002)
	H27/6/2 - 9/2	No.4	(< 0.009)	(< 0.006)	1.8±0.06	(< 0.002)	(< 0.001)
	H27/9/2 - 12/2	No.4	(< 0.008)	(< 0.006)	3.6±0.23	(< 0.002)	(< 0.001)
	H27/12/2 - H28/3/2	No.5	(< 0.009)	(< 0.006)	4.5±0.12	(< 0.002)	(< 0.002)

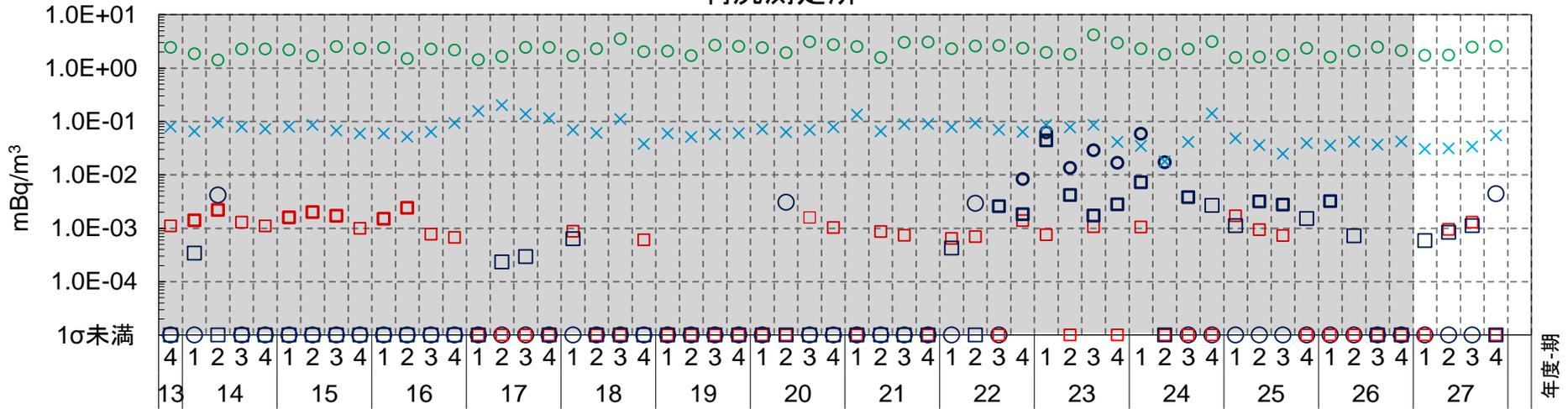
大気浮遊じん

(単位:mBq/m³)

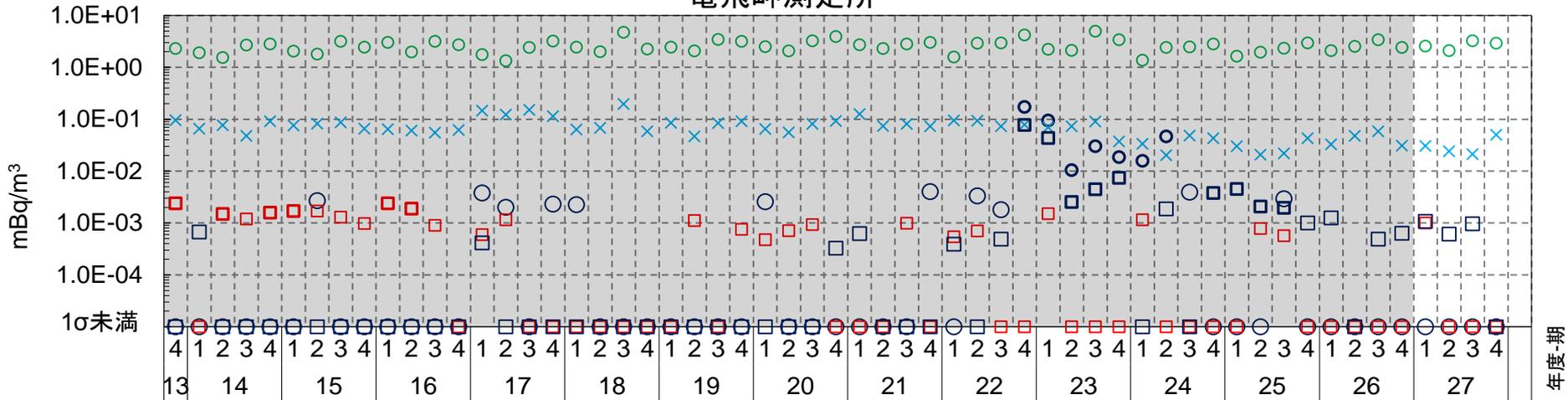
採取地点	試料採取日	ろ紙	γ線スペクトロメリー			放射化学分析	
			¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	⁹⁰ Sr	¹³⁷ Cs
辺戸岬	H27/3/9 - 6/1	No.4	(< 0.008)	(< 0.006)	3.1±0.09	(< 0.002)	(< 0.002)
	H27/6/1 - 9/24	No.4	(< 0.01)	(< 0.005)	1.1±0.04	(< 0.002)	(< 0.0009)
	H27/10/8 - 12/14	No.4	(< 0.02)	(< 0.009)	3.7±0.28	(< 0.002)	(< 0.002)
	H27/12/14 - H28/3/7	No.5	(< 0.01)	(< 0.007)	4.9±0.13	(< 0.002)	(< 0.002)
ろ紙 No.4 Lot. 40701251 (減衰補正日)			(< 0.2) Bq/試料 (H26/8/19)	0.15 ± 0.037 Bq/試料 (H26/8/19)		0.023 ± 0.0065 Bq/試料 (H26/7/25)	0.057 ± 0.0062 Bq/試料 (H26/7/25)
ろ紙 No.5 Lot. 50723252 (減衰補正日)			(< 0.2) Bq/試料 (H27/8/27)	(< 0.2) Bq/試料 (H27/8/27)		0.026 ± 0.0066 Bq/試料 (H27/8/3)	0.072 ± 0.0071 Bq/試料 (H26/8/3)

大気浮遊じん

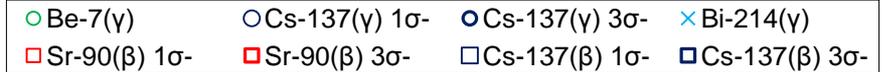
利尻測定所



竜飛岬測定所

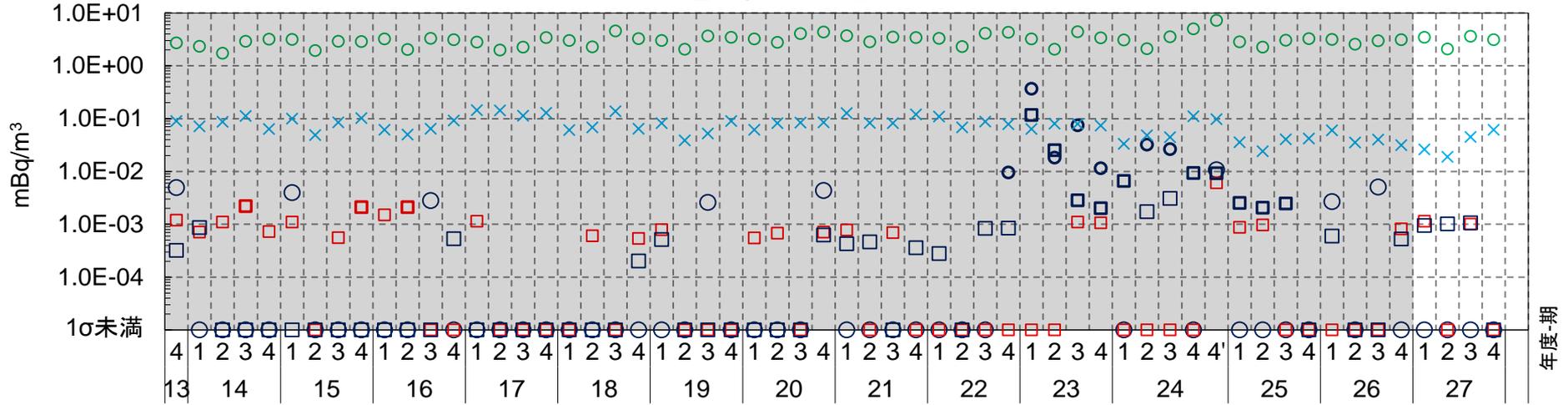


平成17年度第1四半期以降のSr-90の値は、ブランクろ紙の値を差し引いた。
 平成23年度第1四半期以降のCs-137の値は、ブランクろ紙の値を差し引いた。

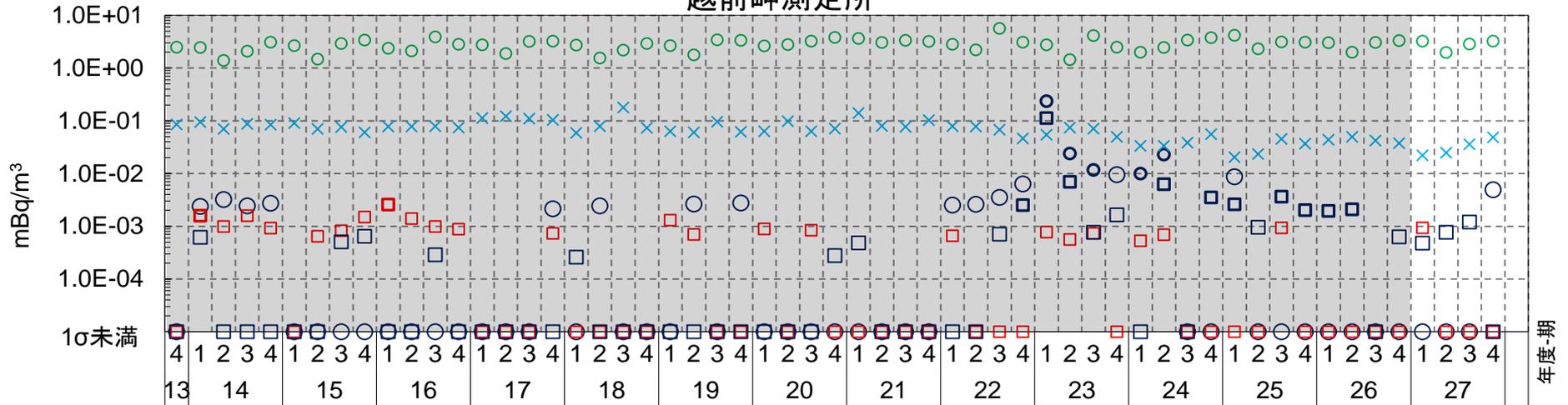


大気浮遊じん

佐渡関岬測定所



越前岬測定所

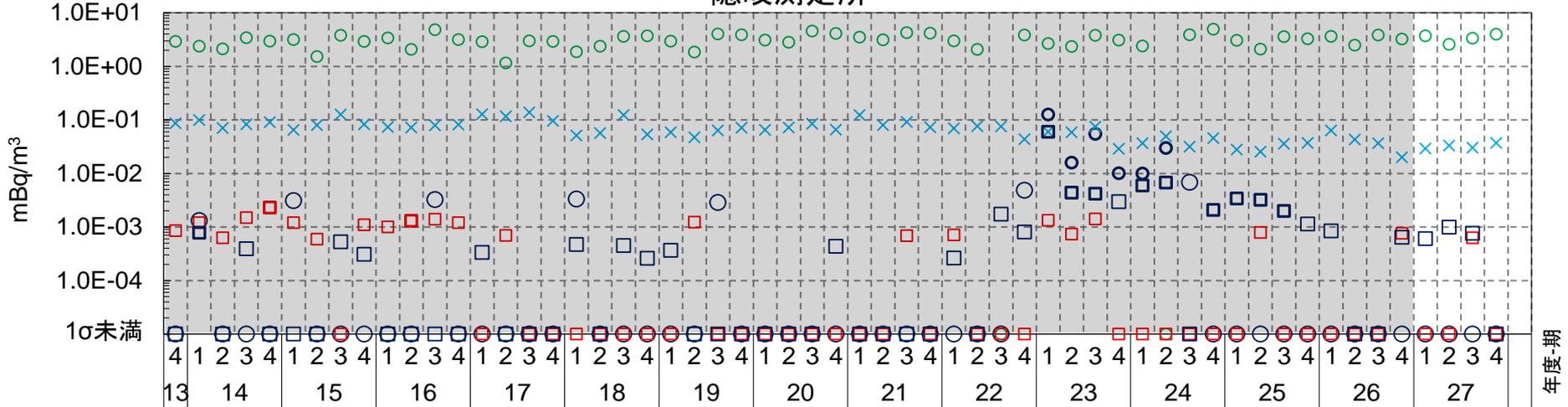


平成17年度第1四半期以降のSr-90の値は、ブランクろ紙の値を差し引いた。
 平成23年度第1四半期以降のCs-137の値は、ブランクろ紙の値を差し引いた。

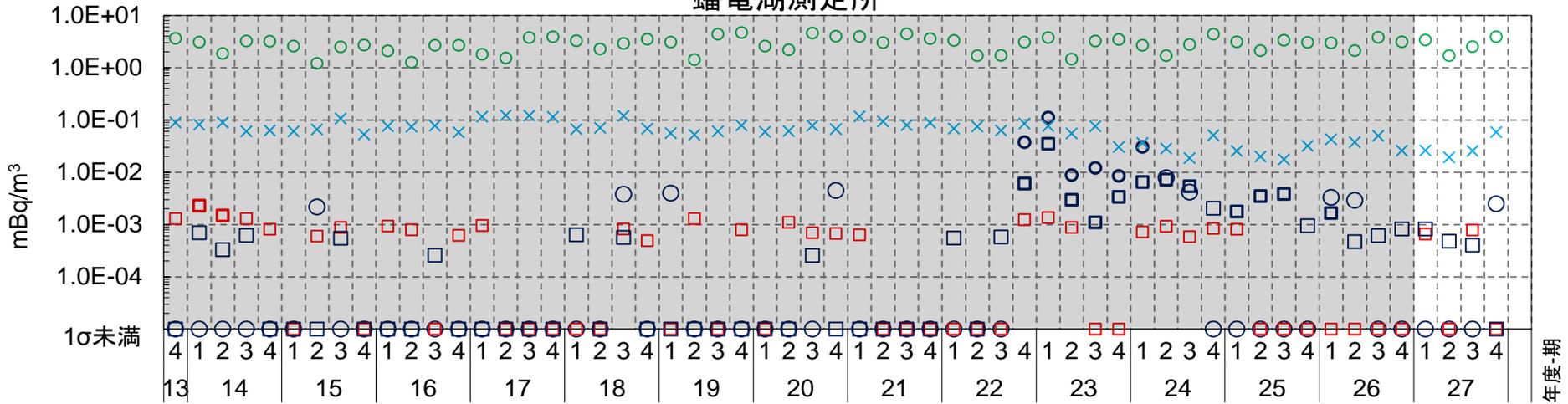


大気浮遊じん

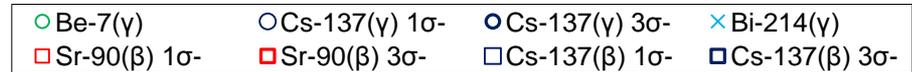
隠岐測定所



蟠竜湖測定所

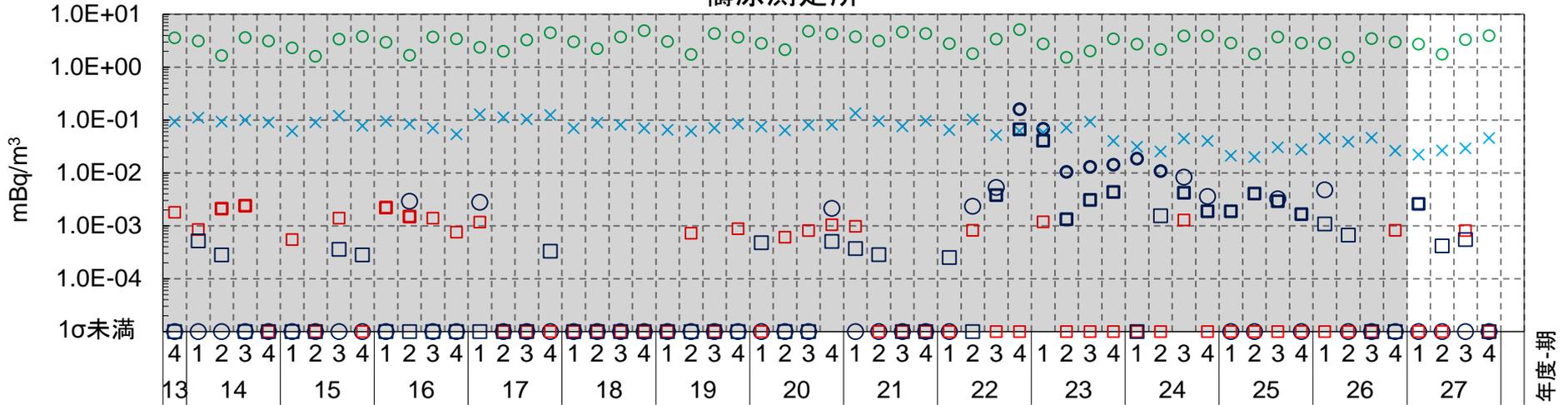


平成17年度第1四半期以降のSr-90の値は、ブランクろ紙の値を差し引いた。
 平成23年度第1四半期以降のCs-137の値は、ブランクろ紙の値を差し引いた。

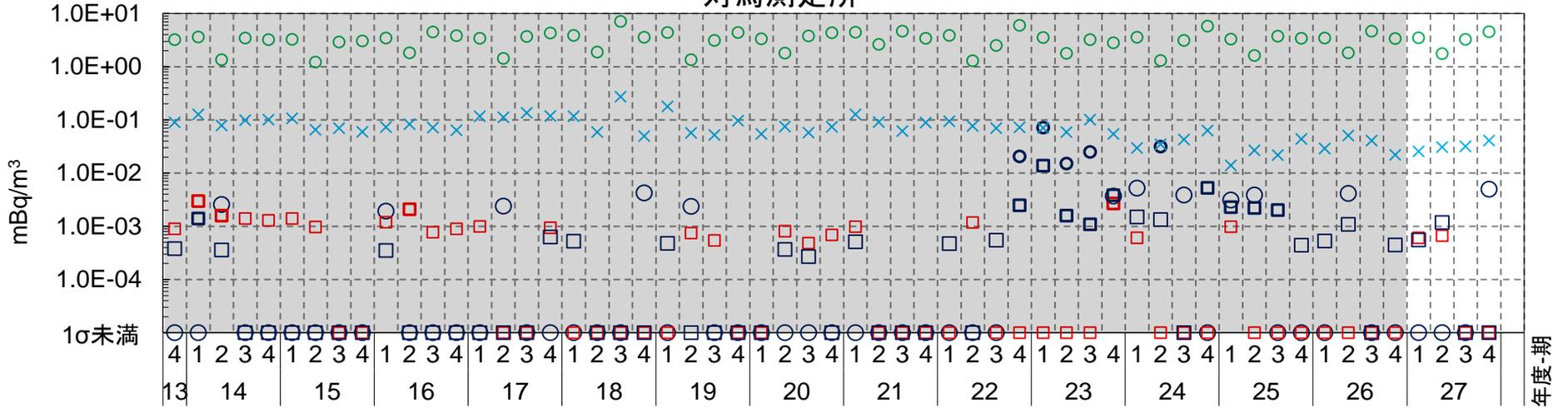


大気浮遊じん

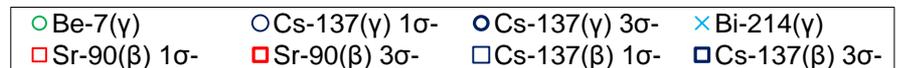
橿原測定所



対馬測定所

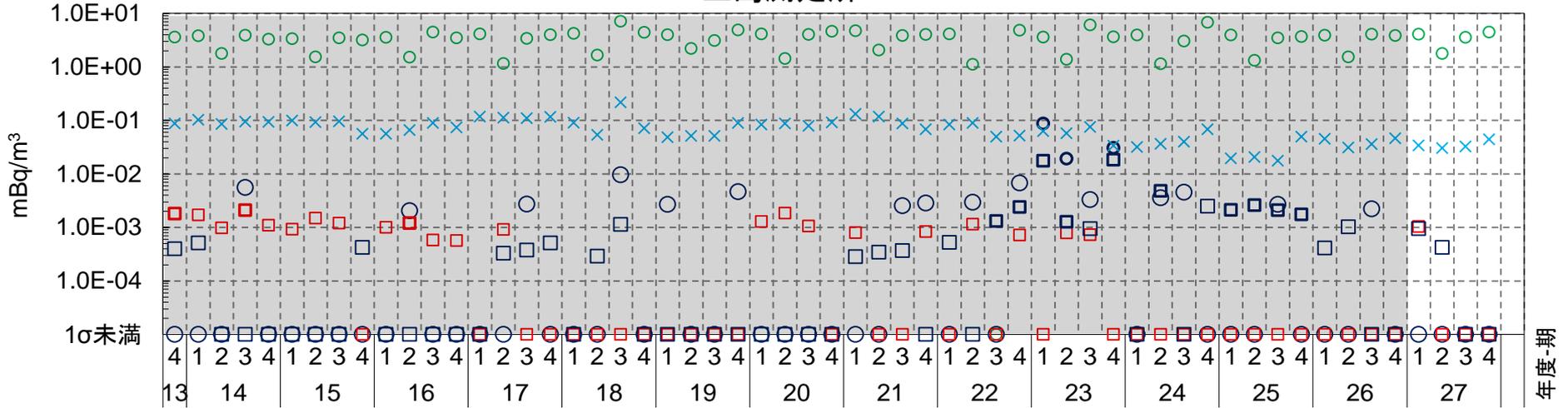


平成17年度第1四半期以降のSr-90の値は、ブランクろ紙の値を差し引いた。
 平成23年度第1四半期以降のCs-137の値は、ブランクろ紙の値を差し引いた。

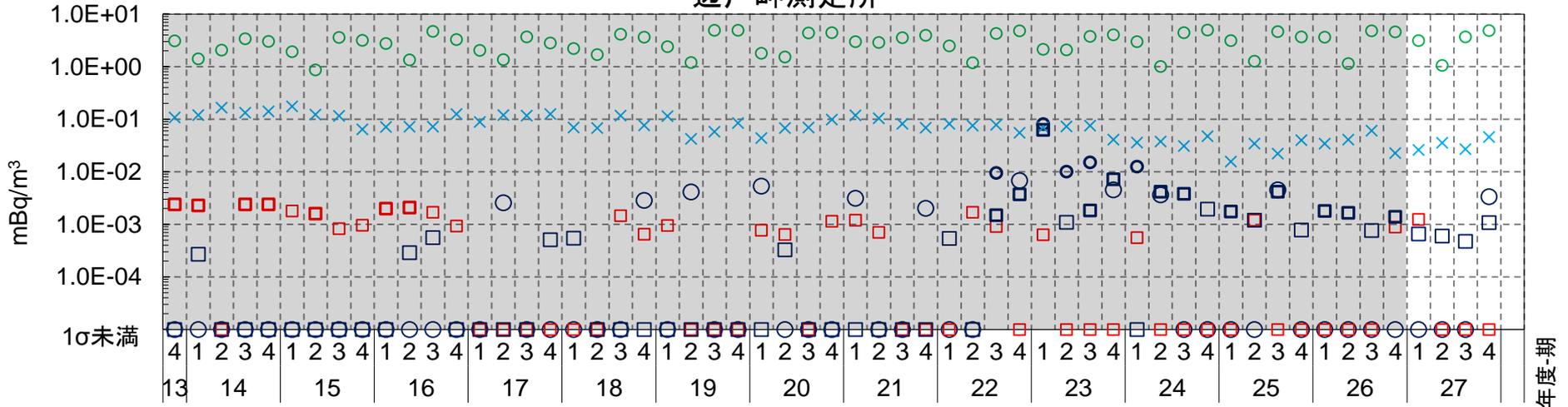


大気浮遊じん

五島測定所



辺戸岬測定所



平成17年度第1四半期以降のSr-90の値は、ブランクろ紙の値を差し引いた。
 平成23年度第1四半期以降のCs-137の値は、ブランクろ紙の値を差し引いた。



大気降下物

放射化学分析

単位: MBq/km²

調査地点	調査結果		比較対象①		比較対象②	
	平成27年4月 - 平成28年3月		平成24年4月 - 平成27年3月		平成20年1月 - 平成22年12月	
	⁹⁰ Sr	¹³⁷ Cs	⁹⁰ Sr	¹³⁷ Cs	⁹⁰ Sr	¹³⁷ Cs
利尻	ND - 0.088	0.034 - 0.15	ND - 0.19	ND - 0.40	ND - 0.29	ND - 0.23
佐渡関岬	ND - 0.21	0.044 - 0.071	ND - 1.9	0.071 - 0.43	ND - 0.30	ND - 0.16
隠岐	ND - 0.33	0.047 - 0.11	ND - 2.1	0.052 - 0.22	0.12 - 0.76	ND - 0.15
五島	ND	ND - 0.037	ND - 0.58	0.039 - 0.26	ND - 0.12	ND - 0.098

放射化学分析は、¹³⁴Csと¹³⁷Csを区別して、測定できないため、試料中に¹³⁴Csが含まれている場合、¹³⁷Cs放射能濃度に¹³⁴Cs寄与分を含むことがある。

測定値は、計数値がその計数誤差の3倍を超えるものについて有効数字2桁で表し、それ以下のものについてはNDで示した。

測定値は、試料採取日に減衰補正した。

放射化学分析とは、試料中の放射性核種を化学的な前処理により分離した後、放射能を測定する分析法であり、Ge半導体検出器を用いたγ線スペクトロメリーより高感度の分析が可能である。

大気降下物

(単位: MBq/km²・3ヶ月)

採取地点	試料採取日	γ線スペクトロメトリー			放射化学分析	
		¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	⁹⁰ Sr	¹³⁷ Cs
利尻	H27/4/3 - 6/30	(< 0.08)	0.10±0.018	310±2	0.069±0.017	0.15±0.013
	H27/6/30 - 10/6	(< 0.07)	0.048±0.016	260±1	0.088±0.020	0.062±0.011
	H27/10/6 - 12/31	(< 0.09)	(< 0.06)	340±5	(< 0.05)	0.034±0.0090
	H27/12/31 - H28/3/31	(< 0.08)	(< 0.05)	260±2	(< 0.04)	0.051±0.0097
佐渡関岬	H27/3/31 - 6/25	(< 0.08)	0.092±0.017	130±1	0.21±0.024	0.071±0.011
	H27/6/25 - 9/29	(< 0.06)	(< 0.05)	120±1	(< 0.05)	0.046±0.0098
	H27/9/29 - /12/24	(< 0.1)	0.10±0.020	330±5	0.14±0.020	0.051±0.0098
	H27/12/24 - H28/3/30	(< 0.09)	(< 0.05)	290±2	0.072±0.015	0.044±0.010

放射化学分析は、¹³⁴Csと¹³⁷Csを区別して測定できないため、試料中に¹³⁴Csが含まれている場合、¹³⁷Cs放射能濃度に¹³⁴Cs寄与分を含むことがある。
測定値は、計数値がその計数誤差の3倍を超えるものについて有効数字2桁で表し、それ以下のものについては検出下限値を示した。また、誤差は計数誤差のみを示した。
測定値は、試料採取日に減衰補正した。

⁷Beは大気試料から検出され、分析・測定全般が正しく行われているか判断する材料となる。

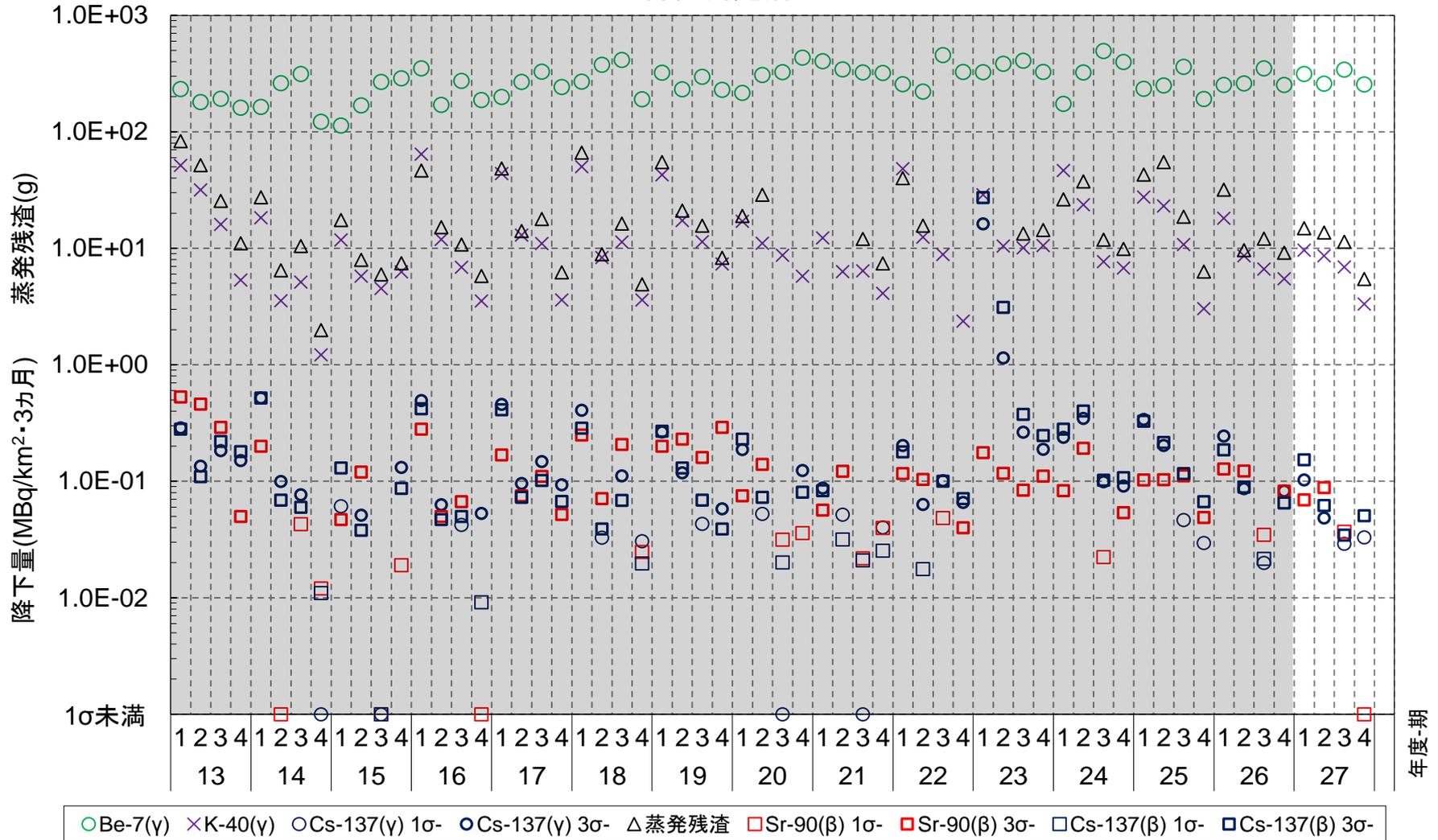
大気降下物

(単位:MBq/km²・3ヶ月)

採取地点	試料採取日	γ線スペクトロメリー			放射化学分析	
		¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	⁹⁰ Sr	¹³⁷ Cs
隠岐	H27/3/16 - 6/22	(< 0.09)	(< 0.06)	130±2	0.11±0.019	0.075±0.011
	H27/6/22 - 9/24	(< 0.09)	0.092±0.018	210±2	0.33±0.030	0.069±0.011
	H27/9/24 - 12/21	(< 0.2)	0.12±0.030	340±7	0.24±0.024	0.11±0.013
	H27/12/21 - H28/3/24	(< 0.2)	(< 0.07)	430±4	(< 0.04)	0.047±0.0097
五島	H27/3/31 - 7/1	(< 0.09)	(< 0.06)	390±2	(< 0.05)	0.025±0.0079
	H27/7/1 - 10/1	(< 0.07)	(< 0.05)	310±2	(< 0.05)	0.036±0.0092
	H27/10/1 - H28/1/4	(< 0.1)	(< 0.06)	330±5	(< 0.04)	(< 0.03)
	H28/1/4 - 3/31	(< 0.07)	(< 0.05)	410±3	(< 0.05)	0.037±0.0090

大気降下物

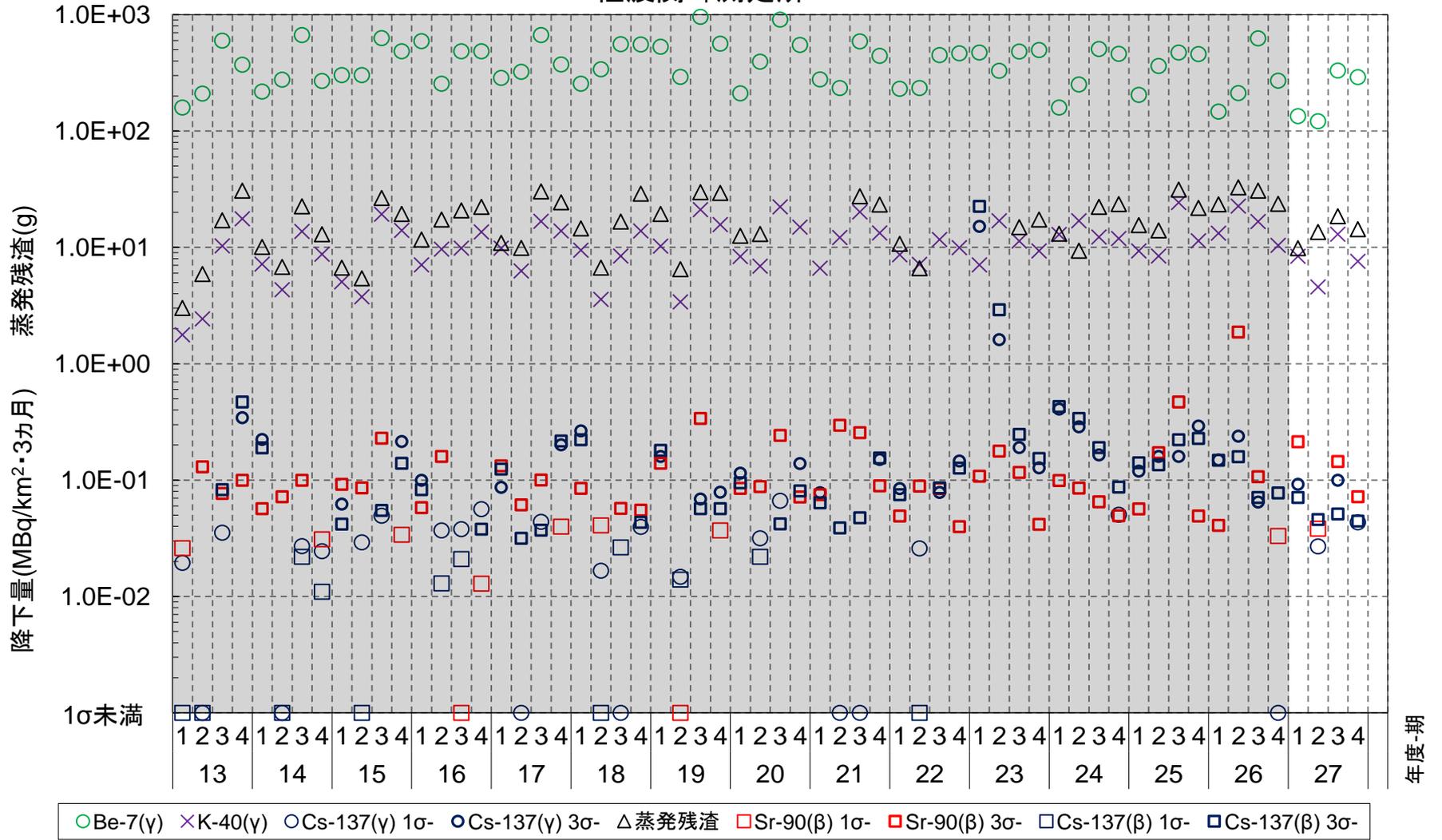
利尻測定所



年度・期

大気降下物

佐渡関岬測定所

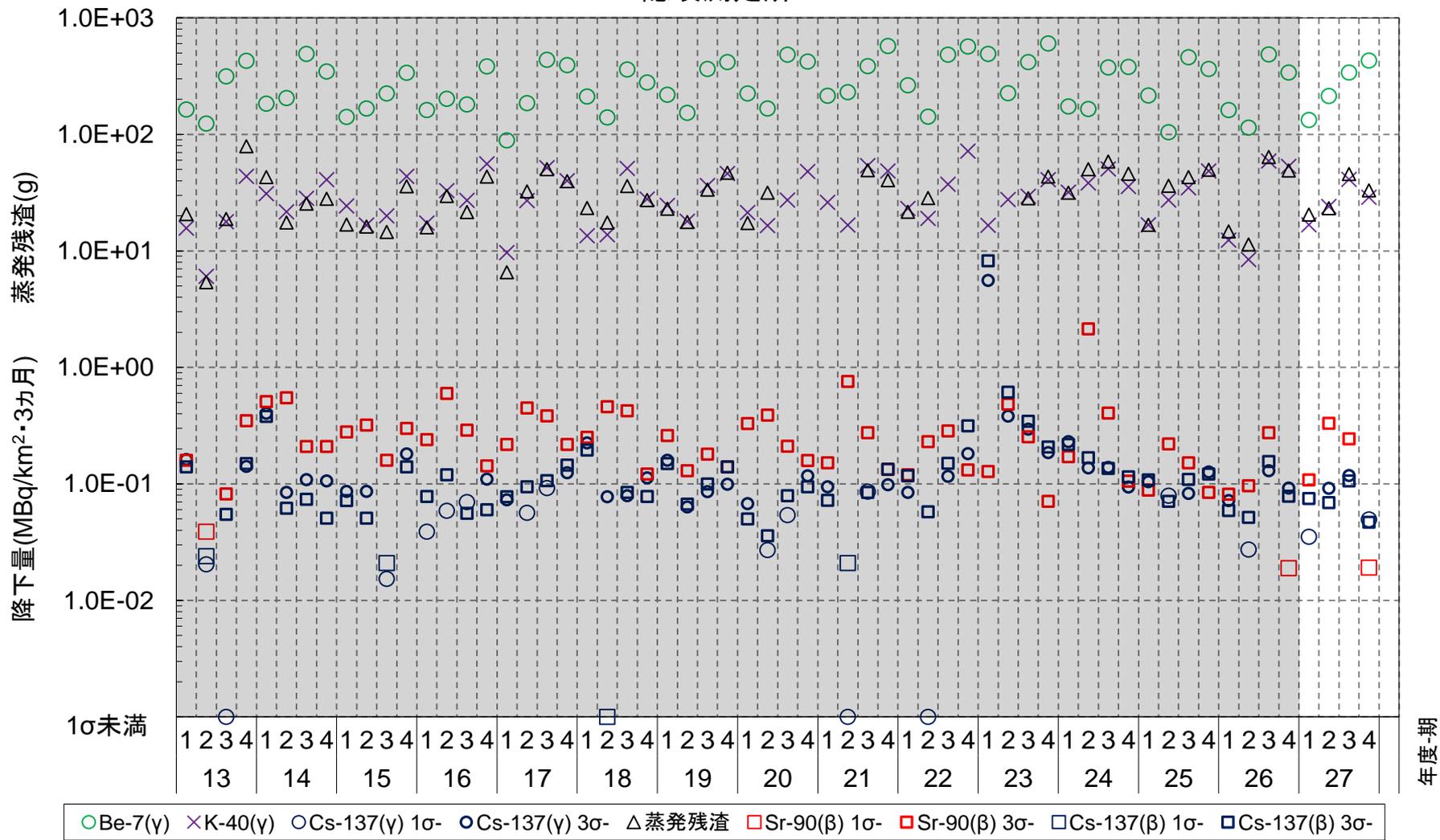


年度-期

○Be-7(y) ×K-40(y) ○Cs-137(y) 1σ- ●Cs-137(y) 3σ- △蒸発残渣 □Sr-90(β) 1σ- ■Sr-90(β) 3σ- □Cs-137(β) 1σ- ■Cs-137(β) 3σ-

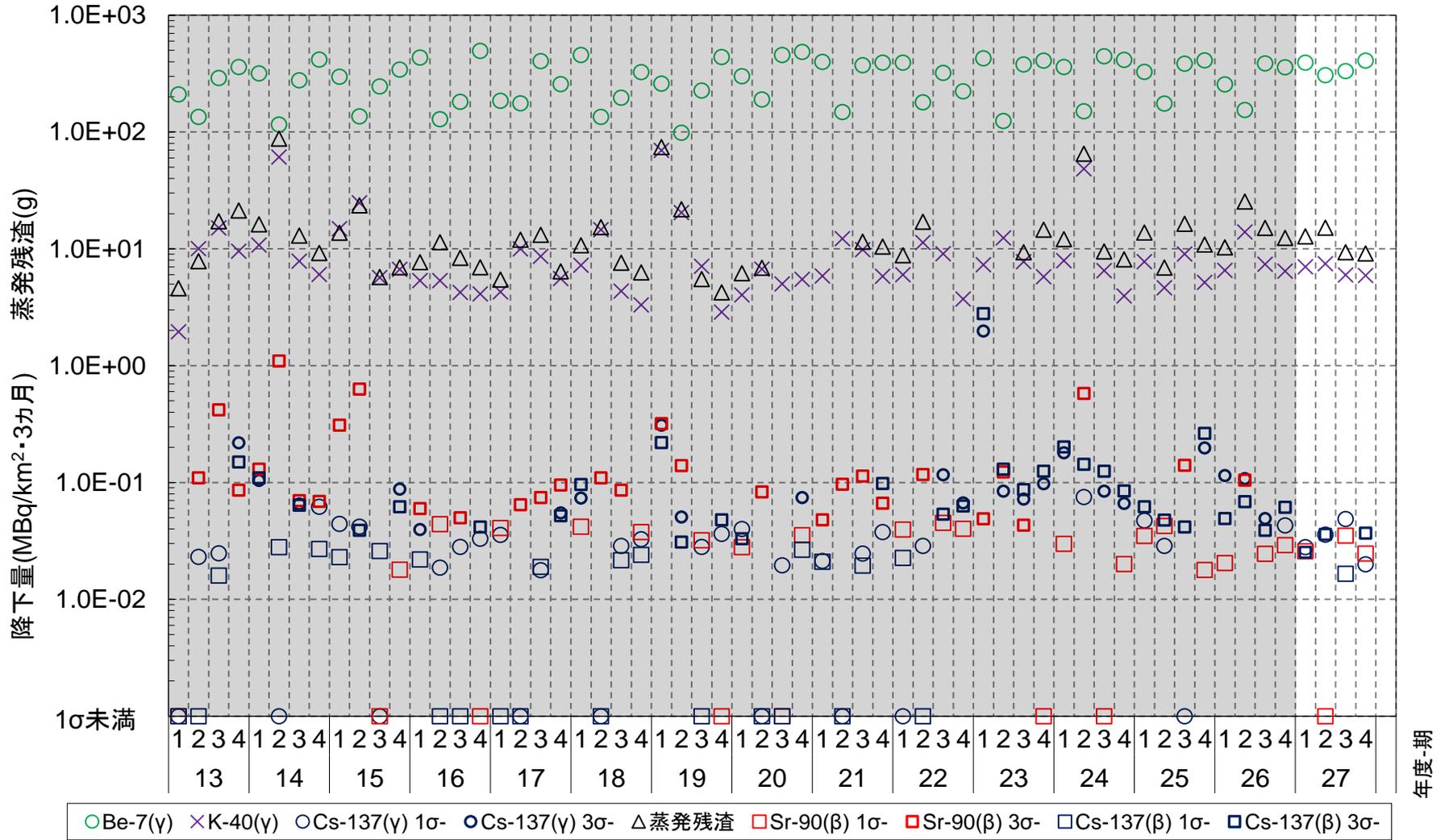
大気降下物

隠岐測定所



大気降下物

五島測定所



土壌

γ線スペクトロメリー

単位: Bq/kg乾土

調査地点	採取深度	調査結果			比較対象①			比較対象②		
		平成27年6月 - 9月			平成24年6月 - 9月			平成21年6月 - 9月		
		¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)
佐渡関岬	上層	ND	41 ± 0.7	ND	ND	47 ± 0.6	ND	ND	51 ± 0.7	ND
	下層	ND	27 ± 0.6	ND	ND	23 ± 0.5	ND	ND	18 ± 0.5	ND
隠岐	上層	ND	16 ± 0.6	ND	ND	22 ± 0.6	ND	ND	14 ± 0.5	ND
	下層	ND	3.9 ± 0.36	ND	ND	8.0 ± 0.40	ND	ND	4.7 ± 0.36	ND
辺戸岬	上層	ND	ND	ND	ND	1.3 ± 0.33	ND	ND	0.89 ± 0.27	ND
	下層	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND

上層は0-5cm、下層は5-20cm

測定値は、計数値がその計数誤差の3倍を超えるものについて有効数字2桁で表し、それ以下のものについてはNDで示した。また、誤差は計数誤差のみを示した。

測定値は、試料採取日に減衰補正した。

⁷Beは大気試料から検出され、分析・測定全般が正しく行われているか判断する材料となる。

土壌

放射化学分析

単位: Bq/kg乾土

調査地点	採取深度	調査結果		比較対象①		比較対象②	
		平成27年6月 - 9月		平成24年6月 - 9月		平成21年6月 - 9月	
		⁹⁰ Sr	¹³⁷ Cs	⁹⁰ Sr	¹³⁷ Cs	⁹⁰ Sr	¹³⁷ Cs
佐渡関岬	上層	2.1 ± 0.17	34 ± 0.5	3.7 ± 0.22	43 ± 0.6	3.7 ± 0.23	46 ± 0.6
	下層	1.8 ± 0.16	19 ± 0.4	2.4 ± 0.18	20 ± 0.4	3.6 ± 0.24	16 ± 0.4
隠岐	上層	1.9 ± 0.17	14 ± 0.4	1.9 ± 0.17	20 ± 0.4	4.0 ± 0.26	13 ± 0.3
	下層	0.87 ± 0.12	7.1 ± 0.25	0.80 ± 0.11	6.2 ± 0.22	1.2 ± 0.14	4.5 ± 0.19
辺戸岬	上層	ND	0.33 ± 0.063	0.38 ± 0.087	0.91 ± 0.097	0.45 ± 0.10	0.51 ± 0.076
	下層	ND	0.74 ± 0.090	ND	0.71 ± 0.087	ND	0.87 ± 0.096

上層は0-5cm、下層は5-20cm

放射化学分析は、¹³⁴Csと¹³⁷Csを区別して、測定できないため、試料中に¹³⁴Csが含まれている場合、¹³⁷Cs放射能濃度に¹³⁴Cs寄与分を含むことがある。

測定値は、計数値がその計数誤差の3倍を超えるものについて有効数字2桁で表し、それ以下のものについてはNDで示した。また、誤差は計数誤差のみを示した。

測定値は、試料採取日に減衰補正した。

放射化学分析とは、試料中の放射性核種を化学的な前処理により分離した後、放射能を測定する分析法であり、Ge半導体検出器を用いたγ線スペクトロメトリーより高感度の分析が可能である。

土壌

(単位: Bq/kg乾土)

採取地点	採取深度	試料採取日	γ線スペクトロメリー			放射化学分析	
			^{134}Cs	^{137}Cs	^7Be (参考)	^{90}Sr	^{137}Cs
佐渡関岬	上層	H27/6/18	(< 2)	41±0.7	(< 20)	2.1±0.17	34±0.5
	下層		(< 2)	27±0.6	(< 20)	1.8±0.16	19±0.4
隠岐	上層	H27/6/25	(< 2)	16±0.6	(< 20)	1.9±0.17	14±0.4
	下層		(< 2)	3.9±0.36	(< 20)	0.87±0.12	7.1±0.25
辺戸岬	上層	H27/6/30	(< 2)	(< 0.8)	(< 9)	(< 0.3)	0.33±0.063
	下層		(< 2)	(< 0.8)	(< 10)	(< 0.3)	0.74±0.090

上(上層)は0 - 5 cm、下(下層)は5 - 20 cm

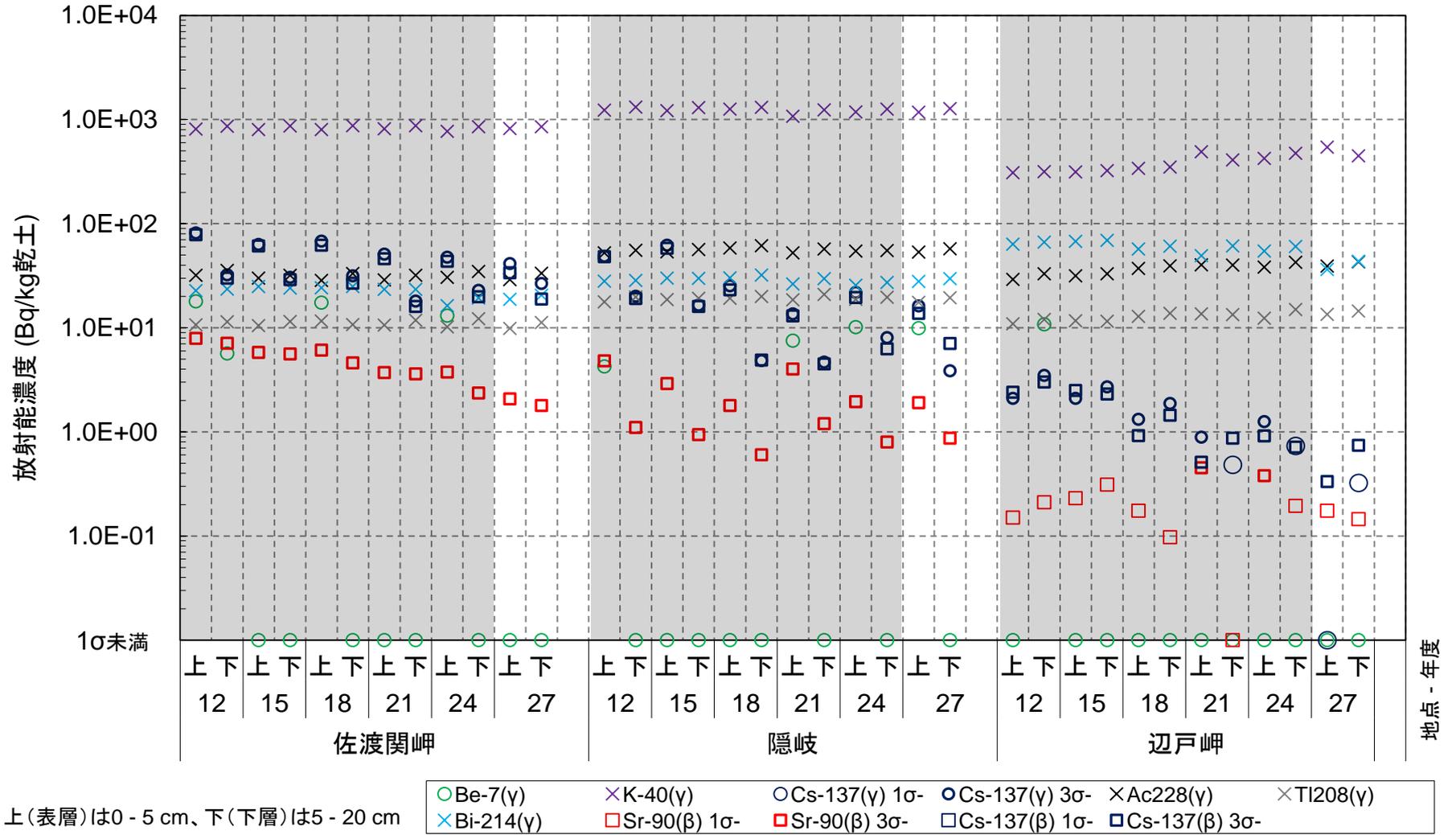
放射化学分析は、 ^{134}Cs と ^{137}Cs を区別して測定できないため、試料中に ^{134}Cs が含まれている場合、 ^{137}Cs 放射能濃度に ^{134}Cs 寄与分を含むことがある。

測定値は、計数値がその計数誤差の3倍を超えるものについて有効数字2桁で表し、それ以下のものについては検出下限値を示した。また、誤差は計数誤差のみを示した。

測定値は、試料採取日に減衰補正した。

^7Be は大気試料から検出され、分析・測定全般が正しく行われているか判断する材料となる。

土壤



陸水

γ線スペクトロメトリー

単位:mBq/L

調査地点	調査結果			比較対象①			比較対象②		
	平成27年6月 - 9月			平成24年6月 - 9月			平成21年6月 - 9月		
	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be(参考)
佐渡関岬	ND	ND	ND	ND	0.36 ± 0.11	ND	ND	ND	5.6 ± 1.1
隠岐	ND	ND	10 ± 1.5	ND	0.55 ± 0.10	8.4 ± 2.4	ND	ND	37 ± 1.9
辺戸岬	ND	ND	ND	ND	0.31 ± 0.088	12 ± 2.1	ND	ND	4.1 ± 1.3

測定値は、計数値がその計数誤差の3倍を超えるものについて有効数字2桁で表し、それ以下のものについてはNDで示した。また、誤差は計数誤差のみを示した。

測定値は、試料採取日に減衰補正した。

⁷Beは大気試料から検出され、分析・測定全般が正しく行われているか判断する材料となる。

陸水

放射化学分析

単位: mBq/L

調査地点	調査結果		比較対象①		比較対象②	
	平成27年6月 - 9月		平成24年6月 - 9月		平成21年6月 - 9月	
	⁹⁰ Sr	¹³⁷ Cs	⁹⁰ Sr	¹³⁷ Cs	⁹⁰ Sr	¹³⁷ Cs
佐渡関岬	0.22 ± 0.071	0.25 ± 0.044	0.50 ± 0.084	0.45 ± 0.067	0.46 ± 0.085	0.17 ± 0.052
隠岐	1.5 ± 0.14	0.24 ± 0.044	1.4 ± 0.13	0.58 ± 0.075	1.8 ± 0.14	0.21 ± 0.051
辺戸岬	1.8 ± 0.14	0.17 ± 0.040	2.3 ± 0.16	0.44 ± 0.065	1.7 ± 0.13	ND

放射化学分析は、¹³⁴Csと¹³⁷Csを区別して、測定できないため、試料中に¹³⁴Csが含まれている場合、¹³⁷Cs放射能濃度に¹³⁴Cs寄与分を含むことがある。
測定値は、計数値がその計数誤差の3倍を超えるものについて有効数字2桁で表し、それ以下のものについてはNDで示した。また、誤差は計数誤差のみを示した。
測定値は、試料採取日に減衰補正した。

放射化学分析とは、試料中の放射性核種を化学的な前処理により分離した後、放射能を測定する分析法であり、Ge半導体検出器を用いたγ線スペクトロメリーより高感度の分析が可能である。

陸水

(単位 : mBq/L)

	試料採取日	γ線スペクトロメトリー			放射化学分析	
		^{134}Cs	^{137}Cs	^7Be (参考)	^{90}Sr	^{137}Cs
佐渡関岬 関川	H27/6/18	(< 0.5)	(< 0.4)	(< 6)	0.22±0.071	0.25±0.044
隠岐 亀の原池	H27/6/24	(< 0.5)	(< 0.3)	10±1.5	1.5±0.14	0.24±0.044
辺戸岬 辺野基川	H27/6/30	(< 0.4)	(< 0.3)	(< 4)	1.8±0.14	0.17±0.040

放射化学分析は、 ^{134}Cs と ^{137}Cs を区別して測定できないため、試料中に ^{134}Cs が含まれている場合、 ^{137}Cs 放射能濃度に ^{134}Cs 寄与分を含むことがある。

測定値は、計数値がその計数誤差の3倍を超えるものについて有効数字2桁で表し、それ以下のものについては検出下限値を示した。また、誤差は計数誤差のみを示した。

測定値は、試料採取日に減衰補正した。

^7Be は大気試料から検出され、分析・測定全般が正しく行われているか判断する材料となる。

陸水

